

北上市立
鬼の館 だより2014.10
第41号

企画展「あの世」開催中

9月6日から企画展「あの世」を開催中です。この企画展では、亡くなった人の魂がどのような場所へ行くのか、またこの世に残された家族がどのように魂を供養してきたのかをご紹介します。展示資料は主に市内寺院の御協力により公開する運びとなったもので、故人の穏やかな成仏を願う気持ちが強くと感じられる供養絵額や、地獄絵と来迎図を対比させた襖絵など間近に見る機会の少ない資料ばかりです。11月16日まで開催していますので、ぜひご覧ください。

「地獄絵図」(部分) 北上市二子町永明寺蔵▶



鬼の館2014年上半期をふりかえって

20周年記念特別芸能公演

鬼の館は、平成6年6月1日の開館から20年を迎えました。これを記念し「20周年記念特別芸能公演」を6月1日・8日・22日に開催しました。今回、市内外の民俗芸能団体の協力を得て3公演を開催し、多くのお客様にご覧いただきました。6月1日のオープニングセレモニーでは、くす玉が割れず事前に用意してお

いた棒で割るというハプニングがありましたが、ご来場のお客様より温かい声援をいただき、終始和やかなムードでセレモニーを終えることが出来ました。

芸能公演の内容は4ページの「学芸ルームから」の中で詳しく紹介します。



ちゃんと開くかな・・・



あっ、ヒモが！



20周年おめでとう！

顔・種種

特別展「顔・種種（くさぐさ）」は4月26日から8月17日まで開催しました。当館収蔵資料の世界各国のお面をアフリカ・アジア・日本・その他の4つにコーナーを分けて展示し、顔の表現の多様性をご紹介しました。数ある収蔵資料の中から特徴のあるお面を選んで展示。中には顔が二つ付いていたり、顔面を手で覆っている珍しいお面もありました。素材も木製や金属製、ヤシの実を加工して作られた物もあり、来館者の方々は興味深げに見入っていました。



顔が二つあるアフリカの精霊面

こどもの日わくわくイベント

「こどもの日わくわくイベント」は5月5日に開催しました。恒例の鬼に変身、ようかい風船、お面に色付けのほか、今年も北上市少年少女発明クラブの皆さんの協力を得てヒモコンヒコウキやまんげきょう作りを行いました。また、生涯学習文化課のストライクダーツのゲームコーナーも人気で、何回も並んで夢中になってボールを投げていました。今年はコーナーの待ち時間を考慮し、色塗りこいのぼり、新聞かぶとのコーナーも設けました。この日は、700人を超える親子で大賑わいでした。



発明クラブさんと一緒に工作づくり！

夏期わんぱく講座「鬼ツズサマースクール」

夏期わんぱく講座は8月4日・6日に開催しました。テーマは「妖怪あんどんを作って、流しそうめんを楽しもう!!」。あんどんは、紙すきから始まり、竹細工に貼り付け最後に目・口をつけて完成です。出来上がったあんどんを、中からLEDライトで照らすと幻想的で綺麗でした。昼食は、流しそうめんです!そうめんに紛れてミニトマトやグミが流れてきたり子ども達は大はしゃぎでした。出来上がった作品は「ナイトミュージアム」で発表し、後日子ども達の元へ帰りました。



ようかいあんどんの完成だぁ〜!!

夏休みワークショップ

夏休みワークショップは市内小学生を対象に7月26日・28日・8月9日・10日の4日間行いました。今回は、「魔よけふうりん」「まんげきょう」「鬼剣舞和紙面」を作りました。なかでも人気が高かった「魔よけふうりん」は、鈴の音には神仏が宿するという古代の考え方から、魔よけや厄除けにしてみようと作成したものです。作業工程が多く低学年の参加者には少し難しかったようですが、出来上がった風鈴の涼しげな音色に満足げに耳を傾けていました。



ブラカップを使用した風鈴

逢魔が時ナイトミュージアム

「逢魔が時ナイトミュージアム」は8月7日・8日の2日間、開催しました。和賀東中学校吹奏楽部の演奏や岩崎鬼剣舞、和賀大乘神楽の公演、ミニミニワークショップでのキーホルダー作り、学芸員と一緒に展示室を巡る展示室探検など、普段は体験することのできない夜の鬼の館を楽しんでいただきました。わんぱく講座参加者で作成した「妖怪あんどん」も展示し、「逢魔が時」を盛り上げました。



学芸員の説明に興味津々

多言語パンフレット

鬼の館では、英語・中国語・韓国語の3か国語版のパンフレットを新しく作成しました。平泉の世界遺産登録や北上市でのアジアマスターズ開催など、海外からのお客様が増えている昨今。足を運んでいただいた海外のお客様にも鬼の館を楽しんでいただけるようご用意しました。日本語版は赤いパンフレットですが、多言語版は黒を基調にしています。常設展示の解説シートも用意しています。



多言語版パンフレット

学芸ルームから

開館20周年記念事業 特別芸能公演を振り返る

主任学芸員 後藤 美穂

鬼の館は平成6年6月1日の開館以来、今年で20年を迎えました。今年度はこれを記念して3回の特別芸能公演を開催しました。主要な展示テーマの一つである「鬼剣舞」など地域の民俗芸能を更に詳しく紹介するものです。

■第1回「それでも剣舞 やっぱり剣舞」

6月1日(日) 午後1時30分～午後3時

出演：滑田鬼剣舞保存会(北上市)、鬼柳鬼剣舞保存会(北上市)、南下幅念仏剣舞保存会(奥州市胆沢区)

現在北上市内の13の鬼剣舞保存会のうち最も古くから活動し指導的役割を果たしてきたのが岩崎鬼剣舞保存会です。



3団体による「刀剣舞の狂い」

一時中断から再興を目指した江戸時代末～明治時代初めに踊りの指導を受けたのが奥州市胆沢区の南下幅念仏剣舞だったようです。現在、両者の芸態は異なるところもありますが、時を経てどのように踊りが受け継がれてきたのかを上記3団体の公演で比較しながらご覧いただく機会としました。当日はそれぞれ得意とする演目を2演目ずつ披露したのち、3団体合同による「刀剣舞の狂い」。同じ囃子で踊るため、南下幅念仏剣舞保存会には鬼柳鬼剣舞との事前練習を行っていただきました。個別に見てはわかりにくい各保存会の違いですが、一つの囃子で同時に見るとその違いは歴然。何を大切に踊ってきたか、どんな道を歩んできたか、そんな歴史を想像させる合同演舞でした。

■第2回「第20回大乘神楽大会 20年ぶりの競演～雄勝法印神楽」

6月8日(日) 午前10時～午後4時30分

出演：【招聘】雄勝法印神楽(宮城県石巻市)、北上市大乘神楽保存会連絡協議会より8団体

大乘神楽は修験道の呪法等を色濃く残す神楽で北上市と花巻市に伝承されています。当館では大乘神楽の

普及と伝承のため毎年大乘神楽大会を開催してきました。今年は節目の20回であり、第1回大会のゲストで



雄勝法印神楽「岩戸開」

あった雄勝法印神楽保存会のみなさんを再度お招きすることにしました。この競演は大乘神楽の皆さんにとっても非常に感慨深く、当日は双方共通する演目「岩戸開き」を熱演。地鳴りすら聞こえるような雄勝法印神楽のダイナミックな踊りと、繊細な表現の大乘神楽との対比が注目を集めました。

■第3回「大地を踏みしめ 祈りを込めて」

6月22日(日) 午後1時30分～午後3時

出演：永井の大念仏剣舞保存会(盛岡市)、浦浜念仏剣舞保存会(大船渡市)、岩崎鬼剣舞保存会(北上市)

「ケンバイ」の語源は大地を踏みしめ悪霊を鎮める陰陽道や修験道の所作「反閤」ではないかと考えられています。剣舞と名のつく踊りは岩手県内に120ほどあり、大きく6つに分けることができます。第3回では、異なる剣舞を比較しながらご覧いただこうと、大きな笠振りが特徴で浄土を求める趣の強い大念仏剣舞、焼香の所作が踊りの中に入り、先祖を供養する沿岸部の鎧剣舞、そして激しい足踏みが特徴の鬼剣舞の公演でした。同じ剣舞でも趣が全く異なりますが先祖供養という共通点を感じられ北上で目にする機会の少ない芸能にもふれることができました。



永井の大念仏剣舞保存会



浦浜念仏剣舞保存会

鬼カフェ

● No. 3

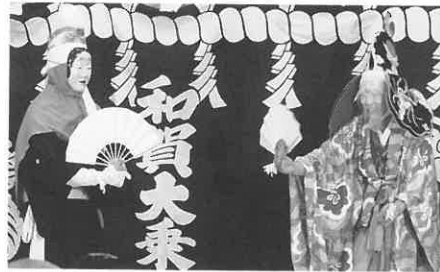
和賀大乘神楽保存会
代表 鈴木 俊逸

煤孫和賀大乘神楽は昭和49年に県の無形民俗文化財、昭和53年には国の「文化財保護審議会が記録作成すべき無形民俗文化財」の指定を受け、記録保存活動を行ってきました。保存会のメンバーは現在16人程度。年間を通して様々な催し等で活動を行っております。1月は元朝に神社での奉納や別当宅での舞い始め、新年交賀会、3月は慶昌寺公演、6月は大乗神楽大会、8月は北上芸能まつり、9月には敬老会と地区の例大祭などが主な活動ですが、お祝い事や催しなどや県内外の芸能大会に呼ばれることもあります。

中でも最も力を注いでいるのはやはり慶昌寺公演

です。これまで14回を数えますが、全33演目のうち幕神楽として披露できる27の演目の中から、出来るだけ多くの舞を披露したいという思いで毎年課題をもって準備しております。例えば「蕨折り」のように数十年舞われる機会のなかった演目を復活させるなど、前向きな気持ちで取り組んでいます。大きな目標は大乗会だいじょうえのみの演目も含め全演目を舞うことができる和賀大乘神楽です。

今後の課題は、何といたっても後継者問題です。煤孫地区の若者が年々減少傾向にあり、保存会として現状を維持していくことが大変難しくなっています。また、神楽を見る機会も昔ほど多くなく興味や関心をもつ若者達が少ないこともあります。そういった意味でも活動を活性化して多くの地元民に支えられる保存会でありたいと考えております。



蕨折りを舞う和賀大乘神楽保存会

平成26年度下半期事業のお知らせ

特別展・市民開放事業

企画展示室で自慢の作品を披露してみませんか。彫刻、写真、手芸、絵画など作品の種類は問いません。期間や展示点数もご相談に応じます。日頃の活動の成果を発表する場として、ぜひご活用ください。

会期：平成26年12月13日～平成27年3月15日

興味のある方は、11月21日までにお問合わせください。

鬼っこわんぱく講座鬼剣舞体験

1月10日・17日・24日・31日

和紙面作り・踊りの練習「刀剣舞の狂い」発表

冬休みワークショップ

12月23日・25日・1月8日

内容未定

※「鬼剣舞体験」と「冬休みワークショップ」は日程が変わる場合があります。

鬼学講座 パート18

- ①11月1日 企画展ギャラリートーク
- ②11月8日 東北の貞任伝説(前) 阿部幹男氏
- ③11月22日 東北の貞任伝説(後) 阿部幹男氏
- ④12月14日 倉沢人形歌舞伎公演
- ⑤12月20日 風流山車にみる「鬼」 山屋賢一氏

福豆鬼節分会

平成27年2月1日(予定)

「福はうち、鬼もうち」の掛け声で豆まきや餅まきを行い、一年の福を呼び込みます。各種ゲームや芸能公演、木ボラの習俗儀礼等内容盛りだくさんの冬まつりイベントです。入場無料。

鬼の里だより

●企画展・特別展

<特別展>「顔・種種」 4月26日～8月17日 9,586人

●鬼ZZ・プレイミュージアム 4月1日～9月30日

和紙面づくり 参加者 227人

出前講座4件 参加者 110人

<夏休みワークショップ>

魔よけふうりんづくり 7月26日 参加者 20人

まんげきょうづくり 7月28日 参加者 16人

鬼剣舞和紙面づくり 8月9日・10日 参加者 24人

●鬼っこわんぱく講座

5月5日こどもの日わくわくイベント 参加者 719人

妖怪あんどんづくり 8月4日・6日 参加者 16人

●逢魔が時ナイトミュージアム

8月7日・8日 観客 317人

●大乘神楽大会

6月8日 観客 301人

●芸能公演

4月27日 黒岩鬼剣舞 観客 183人

5月3日 相去鬼剣舞 観客 90人

5月4日 鬼柳鬼剣舞め組

黒沢尻北鬼剣舞 観客 133人

5月25日 北藤根鬼剣舞 観客 176人

6月1日 20周年記念特別芸能公演 観客 340人

6月22日 20周年記念特別芸能公演 観客 401人

7月27日 谷地鬼剣舞 観客 82人

8月2日 岩崎鬼剣舞※ 観客 241人

8月14日 岩崎鬼剣舞 観客 297人

8月24日 二子鬼剣舞 観客 180人

9月28日 口内鬼剣舞 観客 108人

(※第53回北上みちのく芸能まつり会場として)

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
なお、入館は午後4時30分まで。

休館日

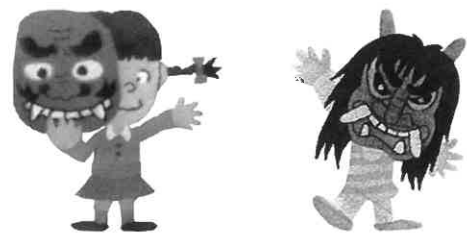
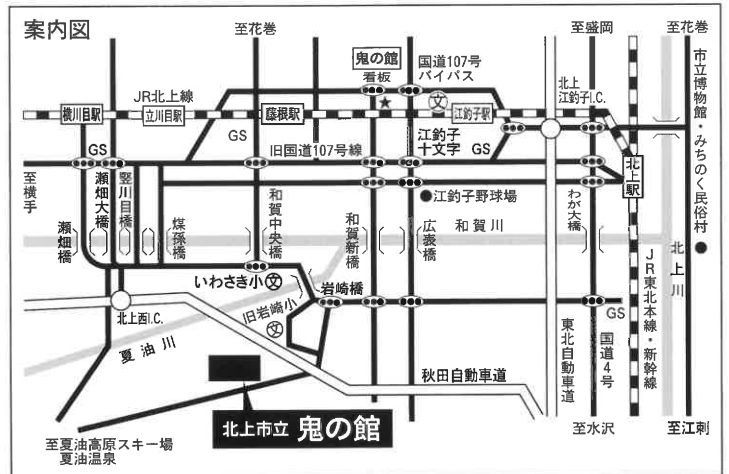
- ・12月～3月の月曜日
- ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
- ・館内整理日(11月27日～11月30日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

入館料	一般	500円(400円)
高校生	240円(180円)	
小中学生	170円(120円)	

()内は20人以上の団体料金。

交通利用

- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車徒歩10分。
- ・JR北上駅より車で20分。
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」、秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で15分。



学芸ルームのかたすみで・・・

只今開催中の企画展「あの世」。展示されている絵額を見ると切なくなります。故人の供養のために描かれる絵額。自分だったら沢山の猫と花に囲まれ昼寝をしている？そんな想像をしながらも「地獄絵図」の中で釜ゆでにされ、鬼に持ち上げられている人が気になります。(明)

北上市立鬼の館だより

第41号 2014.10.15

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508